

23年度 第8回運営会議ニュース

日	時	平成23年12月11日(日)9:30～11:30カエル沼の手入れ、13:30～16:00会議
場	所	県立座間谷戸山公園 パークセンター
出	席	者
		10名

議題

(1)各ゾーンエリアにおける要望事項について

園内の各エリア施設の改善要望事項について、先月の会議に引き続き、会長から項目等を取りまとめた資料の配付があった。

○わきみずの谷の池におけるアオミドロの発生改善について

- ・(意見)井戸からの水はアオミドロが発生しやすい。アオミドロを食べる水生生物(エビ、ヤゴ)、魚等が増えることも必要では。今あるスイレンは水質浄化のためには良い。
- ・(公園)わきみずの谷湧水地井戸と湿生生態園横の防災井戸の改修は、両方とも今年度に行う予定。
- ・(意見)井戸の改修による揚水量の増加による、アオミドロ発生の具合を見る。

○野鳥の原っぱのビオトープ池の復活について

- (意見)・ボランティア活動で維持管理等が出来る程度の池の大きさが良いのでは。
- ・子供が池に入る危険性を考慮するべきでは。
 - ・トンボや小鳥が集まるくらいの危険でない大きさが良いのでは。

○南谷戸の管理について

- ・(意見)谷戸田の会がこの春より、畦管理と田んぼ内の草刈りを定期的に行うことに、背の低い草が生えて、田んぼの水面も維持されて良くなった。来年の継続して欲しい。
- ・上段の田には、水取り入れ口からドロの流れ込みがあるので、ドロ上げが必要である。
- ・上段、中段の田んぼの地面は傾斜しており、地面らの水平度合いを早く測定して欲しい。その上で、田んぼの地面を水平にして、貯水機能を向上させて欲しい。

○その他の要望意見について(委員より)

- ・将来の子供たちがもっと自然とふれあえるようにして欲しい。例えば、野鳥の原っぱでバツタ取りとか、ザリガニ取り以外に子供が水辺に親しめる場所を考えたらどうか。
 - ・紅葉時期をもっと魅力的にするために、園周辺に落葉樹を植樹したらどうだろう。
- (他の委員より)園内にはそれなり落葉樹は点在しており紅葉、黄葉を楽しんでいる。

その他報告事項など

○公園事務所

- ・北西3、5付近側溝の堰上げ改修を行い、谷側への排水処置をした。

○写楽会

- ・野鳥情報について:今冬はマガモが20から30羽と多い。ヒドリガモ、ホシハジロ、カイツブリは飛来したりする。コガモは来ていない。

次	回	1月8日(日)13:30～16:00
---	---	--------------------